



タンチョウも住めるまちづくりに役立てて 伊藤忠エネクス(株)

8月2日、タンチョウも住めるまちづくりに役立てていただきたいと、タンチョウも住めるまちづくりのサポーターである伊藤忠エネクス(株) (佐藤元紀北海道販売支店長) から61万4千100円のご寄附がありました。
これは、同社が行っている持続可能な社会を未来に引き継ぐ活動の一環として、株主総会における議決権の電子行使により削減された郵送費用などの一部をご寄附いただいたものです。



岩手県奥州市の有志の皆さんが表敬訪問

7月13日、本町と姉妹都市(文化交流や親善を目的とした関係)を結ぶ岩手県奥州市から有志の皆さん12名が来町しました。役場を表敬訪問後は、4月にリニューアルオープンしたひつじの旅(旧物産館)2階のレストランで長沼町産ジンギスカンを味わい、本町の魅力を堪能されました。



スマートフォン教室を開催

8月2日と3日の2日間、長沼町生涯学習教室の一環としてスマートフォン教室を、役場で開催しました。
合計17名が参加し、QRコードやLINEの操作方法を実践を踏まえて学びました。参加者からは「家族が遠くに住んでいて操作に困っても聞けないため勉強になった。」や「もっとスムーズに使えるようになりたいと思った。」とスマートフォンへの関心が高まった声が聞けました。



北海道中学校体育大会出場者が表敬訪問

7月18日、長沼中学校の生徒が中体連空知大会を勝ち抜き、全道大会に出場することを報告するため役場を訪れ、各部長が大会への意気込みを語りました。
全道大会に駒を進めたのは、バドミントン部個人戦シングルス石山恵さんと剣道部個人戦 鈴木海さん、サッカー部(岩崎代和主将)で、間嶋教育長は「仲間や顧問の先生、家族に感謝の気持ちを忘れず、本町と中学校の代表という責任感を持ち、出られなかった生徒の想いを胸に存分に力を発揮してください。」と激励の言葉を述べました。



北海道日本ハムファイターズベースボールアカデミー野球教室を開催



8月7日、北海道日本ハムファイターズベースボールアカデミー野球教室を、町営野球場で開催しました。
北広島市に北海道ボールパークFビレッジが開業された本年、球団から選定された「北海道応援大使プロジェクト」を活用して実施したもので、町内小中学生27名が参加しました。
当日は、元ファイターズ選手の村田和哉コーチと大塚豊コーチから走塁や送球、打撃方法など野球技術を学んだほか、元プロ野球選手ならではの話しもあり、夢に向かって挑戦する勇気ももらいました。



新規就農者激励会を開催

7月18日、長沼町食料・農業・農村振興協議会が主催する令和5年度新規就農者激励会が役場で行われ、齋藤町長とながぬま農業協同組合 柴田佳夫代表理事組合長から、新規就農者の皆さんへ記念品と激励状が贈呈されました。
今年度の新規就農者は7名で、代表して田村涼珠さん(曙町区)が「1日も早く信頼される農家になり、長沼町の未来の農業を支えられるように成長したいです。」と意気込みを話されました。



100歳おめでとうございます!

7月20日、塩濱ハリさん(宮下区)が満100歳を迎えられ、7月24日に、齋藤町長から褒賞状とお祝いの品が特別養護老人ホーム迎光園で贈呈されました。
当日は、駆け付けた家族や施設の職員からお祝いの言葉をかけられ、とても嬉しそうに微笑んでいました。
ハリさんは、家族からの果物などを楽しみにされており、おいしく食べているそうです。これからも元気にお過ごしください。

